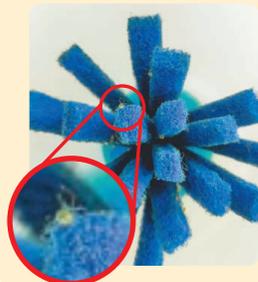


たまご
卵をふ化させてみよう

メダカを殖やしたい! でも“卵から幼魚まで”上手に育てるのは難しい。そこで卵から幼魚までの育て方をご紹介します。
基本的なメダカの飼い方は、『メダカの飼い方』を見てね。



ステップ1



たまご
卵～ふ化
(約8～14日間)
産卵藻に付いた卵を回収しふ化させよう。

- ①卵をバラバラにする
- ②無精卵を取り除く
- ③水替え がコツだよ。

1-1 たまご かいしゅう
卵を回収しバラバラにしよう

- ①産卵藻から卵を取る
- ②ガーゼの上で卵を転がし附着糸を除去してバラバラにしよう
- ③白い卵は無精卵なので取り除こう

※受精卵は固く、潰れる卵は無精卵だよ。
※目を確認できる卵は柔らかいので優しく取り扱おう。

1-2 ようき じゆんび
ふ化容器を準備しよう

タッパーなど水面が広い容器に約500ml水道水を注ぎ、卵を投入しよう。

※水道水に含まれる消毒作用を利用するため、カルキ抜きを入れないのがコツだよ。また卵の数は100個以下にしよう。

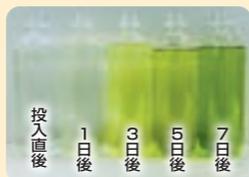
1-3 みすか
毎日水替えをしてふ化をまとう



毎日2/3程度の水替えをしよう。白い卵(無精卵)やカビが生えた卵は取り除いてね。

※卵に目を確認したらカルキを抜きを使用してね。
※ふ化までの日数は水温に影響し、18℃で14日間、25℃で10日間、30℃で8日間くらいでふ化するよ。

グリーンウォーター(植物プランクトン)を準備



グリーンウォーターは稚魚が育ちやすく、光合成により良好な水質になるので、産卵したら、グリーンウォーターの準備をしよう。
ペットボトルに水道水を注ぎ、イージーグリーンを添加。日当たりが良い場所にセットすると約3～14日間で完成するよ。種水として数mlグリーンウォーターを入れると、約5～7日で完成するのでオススメ。

ちぎよ ようぎよ
稚魚から幼魚まで育ててみよう

ステップ2



ふ化～幼魚(15mm)
(約1か月間)

稚魚は弱いので早く幼魚まで育てよう。

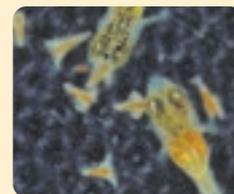
- ①良い環境 (グリーンウォーター)
- ②良いエサ (プランクトンと人工飼料)
- ③良い水質 (掃除と水替え)がコツだよ。

2-1 グリーンウォーターで育てよう



- ①プラケースにグリーンウォーターを注ごう。
※飼育水の色は底が見える緑茶ぐらいの薄い濃度にしよう。濃すぎる場合はカルキをぬいた水道水で薄めよう。
- ②ふ化したメダカを入れよう。
※ふ化して3・4日後に口が開きエサを食べられるようになります。
※飼育匹数の目安は約20匹までだよ。

2-2 ブラインシュリンプ(動物プランクトン)を与えよう



ブラインシュリンプの乾燥卵を食塩水に入れると1・2日で産まれるんだ。メダカはピコピコ動くブラインシュリンプが大好物なので、たくさん食べてグッと大きくなるよ。1日1回与え、数時間後、食べ残しのブラインシュリンプは取り除いてね。



イージー
ブライン



エアーポンプ無しでふ化でき、卵の殻を強力磁石で簡単に取り除ける。



2-3 人工飼料(メダカベビーハイパー育成)を与えよう



メダカベビー
ハイパー育成



栄養バランスに優れ、生きた善玉菌“ひかり菌”が健康を維持します。1日2・3回与え、数分後、食べ残しは取り除こう。

おなかと水中で働く「ひかり菌」配合



ひかり菌